

## 令和8年度 市政ふれあい懇談会要旨

■開催日時 令和8年5月10日（日）14時～16時

■開催場所 湖北台近隣センター

■参加者 市民23名

■出席者 星野市長、高見澤企画総務部長、中光財政部長、海老原市民生活部長、大井環境経済部長、海老原建設部長、林都市部長、担当課長等26名

### ■懇談要旨

#### ①和太鼓の練習場所について

##### 市民：

本日は、家族が騒音被害を受けていることについて、改善のお願いを申し上げたいと思います。

4月3日より、近隣の中学校の武道場において、週末に長時間にわたる和太鼓の練習が行われています。私の自宅は武道場から50メートルも離れていないため、まるで大砲のような音が4時間にわたって響き渡っております。昼間は午後1時から5時頃まで、夜は6時前から9時頃まで続いており、毎週金・土・日と家族がゆっくり休めない状況が続いています。

騒音を測定したところ、昼間で70デシベル以上と、かなり高い数値が出ております。家族も精神的に追い詰められており、今日で10回目となりましたが、ホームページを確認すると今後も練習の予定が入っているようで、もう耐えられない状況です。

4月25日には警察にもお願いし、注意していただいたのですが、全く変化がありません。単調で長時間にわたる音は非常に辛く、週末も心身が休まる場がない状態です。

できれば、武道場ではなく、住宅のない場所、例えば市民体育館など、近隣に住居のない施設での練習に切り替えていただけないでしょうか。なお、5月5日の「こいのぼりまつり」でこの団体の演奏を聴いて応援したいとも思っていたのですが、その後もずっと練習が続いており、ゴールデンウィーク中も実施されていきました。施設の貸し出し方針についても、ご検討いただければと思います。

**市長：**

確かに、中学校の武道場で4時間練習するのは、近隣の方にとって厳しい状況ですね。今のお話を伺い、その団体と話し合いをさせていただきます。

練習できる場所の確保については、近隣センターの防音室や住宅地以外での代替施設の活用が可能かどうか、確認させてください。少なくとも、武道場での長時間練習が近隣に大きな影響を与えているということは承知しましたので、対応させていただきます。

## ②湖北台中央公園のトイレ、リサイクルセンターについて

**市民：**

こいのぼりまつりの際にも感じたことですが、女性用トイレについてご相談したいと思います。来場される女性の方が多く、待ち時間が長く行列になっている様子が見受けられました。9月から工事が予定され、両便所とも洋式化されるとのことですが、設計が決まっている中で、女性用の個室を2つ追加することは難しいでしょうか。イベント時のみの対応では問題もあると思いますし、以前に联合会としてお話しした際には「難しい」とのご回答でしたが、引き続きご検討をお願いしたいと思います。

もう一点は、リサイクルセンターについてです。これは議会でも議題になるかと思いますが、老朽化が進む中でさまざまな施設整備を行っていく中、建設費が100億円を超えるとのこと、一自治体で単独で整備するのはもったいないように感じます。近隣の柏市や流山市などと話し合いの場を設けることはできないのでしょうか。

**都市部長：**

中央公園のトイレについては、昨年からの改修を進めており、防水関係はすでに完了しています。施設そのものの拡張は難しい状況ですが、現在の女性用トイレには洋式が1つしかないため、和式の1つを洋式に切り替える対応を行います。多目的トイレも洋式対応となっており、イベント時は合わせて3つ使用できる形になりますので、様子を見ていただければと考えています。

**市長：**

イベント時については、仮設トイレの設置を検討するしかない状況です。

リサイクルセンターについては、背景を含めてご説明させてください。老朽化が

進んでいたクリーンセンター（焼却施設）について、東日本大震災後に国からの支援を受けて建て替えを行いました。そのため、家庭ごみの収集を止めることなく続けてきています。その計画の一環として、資源ごみの中間処理施設、すなわちリサイクルセンターの建設も15年前から予定していたものです。

現在、月2回収集している缶・ペットボトル等の資源ごみの中間処理をどう継続するかという課題があります。国への申請も許可されており、急に計画を中止することはできません。また、あの場所の選定には2年間かけて地元の方々にご理解をいただいた経緯もあり、場所を変えることも現実的には難しい状況です。

他市との共同処理については、県の広域化計画（2050年目標）もありますが、人口規模に応じた焼却能力の確保や、近隣住民の理解、他市からのごみ搬入に対する地域感情なども考慮する必要があります。また、他市に受け入れていただけるだけの処理能力が、すべての市に備わっているわけでもありません。

建設費が当初の見込みの約2倍となる100億円超になっていることは事実であり、費用を少しでも抑えることは市としても最優先課題として認識しています。例えば、見学ルートの整備や隣接施設との共用など、さまざまな工夫を重ねながらコストを削減する努力を続けています。資源ごみの回収を止めないことを大前提に、引き続き検討を進めてまいります。

### ③湖北台中学校の女子トイレ洋式化について

**市民：**

湖北台中学校の新館の女子トイレにおいて、洋式便器が1個しかなく、休み時間は列をなしてしまうそうです。改善をお願いしたいと思います。

**市長：**

かつての学校トイレは和式がほとんどで、洋式はわずかという状況でした。市長に就任後すぐに学校・学童保育・保育園を巡回し、トイレの状況を確認してきました。校舎のトイレが臭い、という声を多くいただきながら、一つずつ改善を進めてまいりました。

工事中は仮設トイレを設置するなど対応してきており、現在、湖北台中学校で臭いという声はいただいていません。洋式が1個しかないという声もまだ出にくい状況かもしれません。

学校の校舎は老朽化が進んでおり、優先順位をつけながら和式から洋式への切り替えを進めているところです。湖北台中学校についても教育委員会に意向を伝えていきますので、もう少しお待ちください。次回、学校訪問する際には子どもたちに直接伝えようと思っています。情報提供ありがとうございます。

#### ④部活動における送迎バスの安全管理について

**市民：**

テレビでも報道されていましたが、学校の部活動でバスに乗っていた生徒が亡くなるという事故がありましたね。我孫子市ではそのような取り組みはされているのでしょうか。もし送迎バスを利用しているのであれば、今後どのように対応するお考えなのか、お聞きしたいと思います。

**市長：**

我孫子市でも、遠方への移動の際にはバス会社に依頼し、生徒を送迎していると聞いています。また、小規模な練習試合などでは保護者による送迎も行われています。今回報道された新潟の事故のような事例は聞いたことはありませんが、今後は土日の部活動が学校部活から地域部活に移行していく中で、そのような事故が起きないとは限りません。引き続き注意してまいりたいと思います。

#### ⑤学校周辺の公園・排水路の詰まりと管理体制について

**市民：**

大雨の際、近くの小学校の門前で校庭から水が流れ出し、先生が対応していました。私も朝の見守り活動をしておりますので現場を確認したところ、相当量の水が流れており、排水路の階段部分（5～10メートル下）が詰まっているのではないかと思い、確認したところ、突いてみると大量の水が一気に流れ出しました。

排水路の中をよく見ると、落ち葉が詰まっていました。学校の出口から階段付近にかけての排水路が落ち葉でいっぱいになっていたことが、逆流の大きな原因だと思われます。担当の方はこの詰まりについてご存知でしたか。

**道路課長：**

大雨の際に現場を確認しました。側溝のスクリーン（金具）に大量の落ち葉が

詰まっております、道路に雨水排水が溢れ、公園上部から公園に流れ込んでしまったようです。水が道路側に溢れ出していました。その場で清掃を行い、同様の事態が再発した際に公園側からの水が流れ込まないように、かさ上げ措置を応急処置として行っています。今後、本格的にコンクリート製の構造物に改修する予定です。

また側溝のスクリーンに落ち葉などがたまるようになっていますが、最近では住民で落ち葉の清掃など管理することがなかなか出来なくなっているため、スクリーン自体を撤去することを検討しています。スクリーン自体を撤去することで側溝の詰まりが少なくなり、改善が見込まれます。並行して、側溝のつまりの一つの原因となっていた落ち葉を少なくするため、公園上側の道路に面した公園の樹木について、剪定・伐採を行います。加えて、学校内の排水路の土砂の詰まりにより校庭に降った雨が直接道路に流れ出ているため、教育委員会にも校内の側溝の清掃をお願いしています。

大雨時のパトロールルートにも当該箇所を追加しましたので、引き続き状況を確認してまいります。皆さまのご協力もよろしくお願いいたします。

#### **市民：**

地域の自治会としても見守りを強化すべきだと思っておりますが、コンクリートの重い蓋は住民では外せません。そういった意味でも、総合的な管理体制を整えていただければと思います。

また、こういった情報をすぐに市役所へ連絡できる体制が必要だと感じています。「環境見守り活動」のような仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。加えて、4丁目の4号公園では強風で折れた枝が落下しており、危険な状況です。子どもたちが遊ぶ坂道付近にも枯れ枝があり、大変危険です。公園の木も50年以上経過しているものがありますので、定期的な点検をお願いしたいと思っております。

どこに連絡すればよいかわからないという市民の方も多いため、窓口をわかりやすくしていただければありがたいです。

#### **市長：**

公園は整備から60年近く経過しており、落ち葉や枯れ枝が多くなっています。以前は自宅前を皆さんが掃除してくださっていましたが、高齢化が進み、重い蓋を開けることが難しくなってきたとの声もいただいております。

市内には 500 キロにも及ぶ道路があり、毎日点検することは現実的に難しい状況です。だからこそ、お散歩中や買い物の際に気づかれたことを市役所にご連絡いただくと大変助かります。情報をいただければ 1 週間以内に現場確認を行うよう指示しています。道路であれば道路課、公園であれば公園緑地課が担当しますが、わからなければ秘書広報課にお電話ください。担当課に繋がります。各自治会の中でも情報共有の仕組みを作っていただければ、市との連携もスムーズになると思いますので、ぜひご協力をお願いいたします。

#### ⑥社会福祉協議会の体制、バスのバリアフリー対応、リサイクルセンターについて

##### 市民：

昨年 4 月から「一人暮らし高齢者の見守りサービス」に契約申し込みをして、11 月ようやく社会福祉協議会と契約できました。月 3,000 円で電話による見守りサービスを受けていますが、問い合わせの際に「忙しい」と断られることがあり、職員の方が大変そうに見えます。今年から新しいサービスが始まるとのことです、職員体制は大丈夫なのでしょうか。契約に 1 年もかかったこともあり、今後が心配です。

次に、路線バスについてです。私は湖北台から我孫子駅まで路線バスをよく利用しますが、便数が大幅に減っています。経済的な事情はわかりませんが、問題はノンステップバスと記載されているにもかかわらず、停留所できちんと歩道に近づいて停車してくれない運転手が多いことです。我孫子駅では丁寧に対応してくれますが、他の停留所ではなかなか停まってくれません。買い物帰りの高齢者がショッピングカートを持って乗車しようとしても、大変です。交通担当の方にはぜひ実際にバスを利用して、高齢者がどのような状況に置かれているか体験していただきたいと思います。

また、リサイクルセンターについても、我孫子市の人口規模と今後の人口推移を踏まえて、どのように検討されているのかお聞きしたいと思います。

##### 建設部長：

路線バスの運行については、運転の丁寧さには個人差があり、乗りやすい・乗りにくいケースが生じていることは認識しています。バス会社にこのようなご意見があったことを伝えるとともに、市職員も可能な範囲で運行状況を確認してまいります。

**市長：**

社会福祉協議会は市とは別の法人ですが、各市町村に設置が義務付けられている公益的な法人です。職員数の増減について私から直接指示することはできませんが、このようなご意見があったことを社会福祉協議会の会長にお伝えし、職員数について検討していただくよう働きかけます。市と社協は車の両輪のような関係で、収益が出る事業については社協が担い、市は補助金という形で支援しています。補助金の多寡については様々なご意見がありますが、職員が多忙を極めているという実態を踏まえると、一概に補助金が多すぎるとは言えない面もあります。今後も社協のあり方について検討を続けてまいります。

リサイクルセンターについては、建設すれば50年間使用することを前提とします。建設費が50億円の予定から100億円超になっていることは事実ですが、資源ごみの回収を止めないことを最優先に、費用をできる限り抑えながら検討を進めます。借金（起債）を活用して費用を世代間で分担する形を取ることで、現在の市民だけでなく将来の市民にも負担を公平に分け合う形をとります。

#### ⑦湖北地区公民館の障害者用トイレ使用禁止について

**市民：**

昨年8月・9月の2ヶ月間、公民館が使用できない時期があり、工事後に利用できるようになりました。ところが、先日の文化祭でエレベーター隣の障害者用トイレが使用禁止になっていることに気がつきました。障害者用トイレはそこ1か所しかありません。また、一般用トイレは洋式が数か所ありますが、ブースが狭く、障害のある方が入れない状況です。

館長から連絡が届いているかと思っていましたが、来ていないのでしょうか。館長も最近交代されて、委託会社の方になったとのことですが、障害者用トイレは修繕されるのでしょうか。

**市長：**

ご指摘ありがとうございます。昨年、指定管理者が変わったことに伴い、館内のスタッフも変わりました。障害者用トイレについてのご指摘は今初めて伺いましたので、確認します。施設は市の建物であり、教育委員会が管轄していますが、工事費用は市が負担します。長期工事の際は連絡が来ますが、日常の修繕については報告が

来ないこともあるため、現状をすぐに確認させていただきます。すでに修繕されていれば良いのですが、改めて確認いたします。

#### ⑧自転車の交通ルール改正とヘルメット着用促進について

##### 市民：

通勤で自転車を利用しており、家族全員分のヘルメットを購入しましたが、実際に街でヘルメットをかぶって自転車に乗っている方はほとんど見かけません。

また、先日外国の方が車道を 3～4 列で歩いており、ベルを鳴らしても無視されました。中央公園隣の大通りでは、交番の方から「車道の左側を走り、車の信号に従うように」と言われましたが、私自身も歩道走行の習慣がなかなか抜けません。

今年 4 月から自転車のルールが改正され、一時不停止に対して罰則が強化されたと聞きましたが、事故は減っているのでしょうか。また、ヘルメットの補助金は今後も継続されるのでしょうか。息子が今年免許を取りましたが、マナー違反の自転車をはねそうになった経験もあり、安全のためにしっかりとした情報発信をお願いしたいと思います。

##### 建設部長：

今年 4 月 1 日から自転車は「軽車両」として、車やバイクと同様のルールが適用されています。基本的には車道の左側を走行し、一時停止標識があれば一時停止を守るルールです。13 歳未満の子どもは歩道走行が認められています。

市ホームページでルール変更の周知を行っており、中学校では警察と連携した交通安全教室も実施しています。自治会単位でご希望があれば、千葉県の専門講師派遣制度もありますのでぜひご活用ください。

ヘルメットの補助金については、令和 6 年度に千葉県の補助金を活用して実施しましたが、着用率がなかなか上がっていないため、現在は着用率向上の取り組みを優先しています。着用率が上がった段階で補助金の再開も検討してまいります。

##### 市長：

ヘルメットの着用については、中学校には指導が届いていますが、市内の県立高校については県の教育委員会が指導しなければ徹底が難しい状況です。現時点でヘルメット着用は「努力義務」であり、罰則はありませんが、数年後に義務化される可能

性もあります。

自転車の交通違反については、警察も現在はまず周知・警告を優先し、取締りは段階的に強化していく方針と聞いています。外国人の方も日本人と同様にルールが適用されますが、シートベルトの定着に時間がかかったように、自転車のルールも定着まで時間がかかるかもしれません。しかし、周囲がやっていないからといって自分もやらないのではなく、自分自身がルールを守るという意識を持っていただくことが大切です。ぜひ息子さんにも伝えていただければと思います。

#### ⑨ごみの減量化・リサイクルセンター見学ツアーの提案

**市民：**

私は 30 年以上小学校の教壇に立ち、4 年生のクラスを担当した際に何度もごみ工場の見学をしました。資源ごみの缶の中にたばこの吸い殻が入っていたり、ペットボトルが汚れたまま出されていたりと、現場の実態を見て子どもたちは驚いていました。

大人になってからもごみ処理施設を見学する機会があれば、資源ごみへの意識が変わると思います。ぜひ広報誌などで「大人のリサイクルセンター見学ツアー」を募集していただけないでしょうか。ごみの量を減らすには、こうした意識向上が欠かせないと思います。また、地域の自治会連合会として、地域のごみ清掃は自分たちで行うよう、自治会長にも話をしてみたいです。

**市長：**

ありがとうございます。地域清掃については、無理のない範囲でご協力いただけると大変助かります。高齢化が進む中、体調を崩されては大変ですので、できる範囲で構いません。

我孫子市の小学 3・4 年生も、社会科見学でクリーンセンターや市内施設を巡っています。子どもたちが関心を持ってくれることが大切ですが、大人の方々にもぜひ現場を見ていただきたいと思っています。

クリーンセンター（焼却施設）はすでに学校や自治会向けに見学を再開しています。自治会の皆さんで申し込んでいただければご見学いただけます。

現在のリサイクルセンターでは、屋根のない作業場で高齢者や障害のある方が分別作業を行っており、過酷な状況です。その様子をご覧いただくことで、資源ごみを丁

寧に出すことの重要性をご理解いただけたと思います。

なお、我孫子市には最終処分場がなく、現在は北茨城市にお世話になっています。東日本大震災の際にも感じたことですが、自分たちで処理できることは自分たちで行うという姿勢が大切だと感じています。

#### ⑩空き家問題の相談窓口と対応体制について

**市民：**

空き家問題についてお聞きします。隣の家が空き家になっており、建物が傷んできているケースや、住んではいるものの意思疎通が難しい高齢の方への対応など、自治会内でも課題となっています。近所同士でトラブルになることも避けたいのですが、どこに相談すればよいかわからない状況です。

苦情を伝えても通じないケースもあり、第三者的な立場で仲介していただける窓口が必要だと思います。まずはどの部署が担当するのかを教えてください、月 50 件程度の案件についても対応していただければと思います。

**市民生活部長：**

空き家の担当は「市民安全課」になります。市ですべての空き家を把握しているわけではありませんので、近隣の方からの情報提供も大変重要です。草が伸びている、樹木が隣家に越境しているなど、お困りの内容を市民安全課にお寄せいただければ、所有者を調べて通知や訪問を行います。ぜひ情報をお寄せください。

#### ⑪ごみの指定袋制度導入の提案

**市民：**

我孫子市から年間 13,000 トンのごみが排出されていると聞いています。その中でも生ごみが燃焼時に多くのエネルギーを消費しますが、指定ごみ袋制度を導入することで、ごみに対する意識が高まるのではないのでしょうか。また、生ごみの水分を切ることで、堆肥化やコンポスト処理なども有効だと思います。他の自治体でも取り組んでいるようですが、ご検討いただけないのでしょうか。

**生活衛生課長補佐：**

我孫子市では現在、透明または半透明の袋であれば市販のものを使用できる形で

お願いしています。できるだけ水分を切って出していただくよう、広報やごみカレンダー等でご協力をお願いしているところです。

指定ごみ袋の導入については、数年前にeモニターアンケート等で聴いた意見を踏まえ、現時点では導入しない方針としています。引き続き市民の皆さまにご協力いただき、ごみの減量を進めてまいりたいと思います。